



共に創る掛川  
鈴木久裕

## 民間による大規模風力発電所計画は

**Q** 掛川市と周辺にかけて国内最大級といわれる風力発電所が計画されているが、再生可能エネルギー導入と、影響を受ける絶滅危惧種の保護という両立が難しい課題について、市長はどのような考え方で臨むのか。



計画地付近に生息する絶滅危惧種のクマタカ

## 最善の方向性を求めていく

**A** 環境影響評価を進める中で、希少野生動植物にどの

ような影響があるのか見極める必要があります。希少野生動植物への配慮と、再生可能エネルギーの普及はいずれも重要な課題なので、環境影響評価において最善の方向性を求めていきます。

## 監査委員から示された決算審査意見への対応は

**Q** 審査意見にあった、課をまたいだ事業の効率的効果的な推進や重複した事業の統廃合について、いつまでに、どの程度まで、どのように図っていくのか。

## 効率的かつ効果的な運用を検討していく

**A** 事業目的を達成するためには、どのように運用していくことが、より効率的かつ効果的か、重複した事業の統廃合を含め、随時、検討していきます。

### 【その他の質問事項】

・会計年度任用職員制度の運用について



創世会  
嶺岡慎悟

## 小中一貫校の整備検討は市長部局主導の取り組みを

**Q** 小中一貫校の整備は、地域の魅力づくり、まちづくりであり、教育のみの議論ではおさまらない。今後は教育委員会主導ではなく、市長部局主導の取り組みが必要であると考えるがいかがか。

## 市長部局と連携しながら教育委員会主体で進める

**A** これからの子どもたちにとって望ましい教育環境を整備する「子どもファースト」の考えを最重視するべきなので、教育委員会が主体となって進めるべきだと考えています。学校再編だけでなく、公共施設の複合化を推進するために、市長部局と密接に連携して取り組んでいきます。

## 保育園の整備には十分な検証を

**Q** 令和3年開園の90人規模の保育園の整備計画について、開園を1年前倒しすることによって国の交付金が見込めず、市の負担する建設費が3億円以上増えるが、そのような判断をした理由を伺う。

## 一人でも多くの待機児童を解消する

**A** 財政的視点や公共施設マネジメントの観点に立てば、国の交付金を受け、民間主導で施設整備を行う方式も考えられますが、令和3年度以降、待機児童が発生する可能性があるため、計画的な保育施設の整備を行い、目の前の待機児童を一人でも多く解消させるべきであると判断しました。

### 【その他の質問事項】

・大型商業施設誘致について  
・掛川茶エンターテインメント

